



2021年5月21日

各 位

会 社 名 日東富士製粉株式会社
代表者名 代表取締役社長 藤田 佳久
(コード番号 2003 東証第1部)
問合せ先 総務部長 坂田 喜章
(TEL. 03-3553-8781)

新中期経営計画策定のお知らせ

2021年度から2024年度までの新中期経営計画を策定しましたので、下記の通り、お知らせ致します。

記

2024中期経営計画 “New Foundation for the Future”

市場、経済、環境、DX等の変化に対応しつつ、更なる成長のための「ゆるぎない土台」となる事業基盤を確立し、連結純利益40億円を実現する。

1. 基本方針

「原料調達・製造・販売・開発・物流」全部門の連携を強化し、全社一丸となって、食の安心・安全・美味しさをお届けする。

2. 重点戦略

- (1) 成長を支える設備・人財投資
- (2) グループ経営基盤及び連携の強化
- (3) 海外ミックス粉事業の面展開と小麦粉の輸出拡大
- (4) 美味しさと健康を軸とした製品ラインナップの拡充
- (5) 「主食を通じた食と健康の課題解決」につながる新規事業機会の創出

3. 2024年度の業績目標

連結経常利益 56億円 / 連結純利益 40億円 / 連結ROE 8.0%

以 上

2024 中期経営計画

New Foundation for the Future

2021年5月21日



日東富士製粉株式会社

企業理念

小麦製粉事業及び、その関連事業を通じて、食糧供給の一翼を担い、社会や人々に貢献してゆく企業を目指します。

ビジョン

製粉事業のプロフェッショナルとして、お客様とともに成長し、社会にとってなくてはならない存在となります。

行動指針

- ①法令と社会規範を遵守し、誇りを持って仕事に臨みます。
- ②創意工夫により顧客満足度を高めます。
- ③仕事に情熱を持ち、迅速に課題を解決します。

Next Future 2020 ～近未来への第一歩～ 概要

基本方針

「原料調達・製造・販売・開発・物流」全部門の連携を強化し、全社一丸となって、食の安心・安全・美味しさをお届けしてゆきます。

実績

- 全部門の連携強化
 - ・最適な需給バランスの徹底
 - ・生産性向上のための設備投資
 - ・生産・物流の最適化
- 新分野・新商品開発・新市場開拓
 - ・増田製粉所の完全子会社化による融合①
 - ・リテールベーカリー分野の強化
 - ・海外ミックス粉事業の拡大②
 - ・全粒粉、ライ麦を活用した提案営業推進
 - ・パウダーブラン、ブランサワー等の新商品開発

課題

- 持続的成長のための設備更新の必要性
- 更なる成長に向けた人材育成
- 海外事業の更なる基盤強化

(百万円)	前中経 業績目標	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度
連結売上高	-	49,561	54,900	57,544	56,544
連結経常利益	3,000	3,171	4,463	4,970	5,027
連結純利益	2,000	2,336	3,357	3,384	3,536
連結ROE	6%程度	7.5%	10.0%	9.5%	9.3%

2020年度中期経営計画目標を達成

①(株)増田製粉所の完全子会社化 (2017年度)



②タイミックス粉会社の設立 (2018年度)



想定される環境の変化

外部環境	業界環境	<ul style="list-style-type: none"> ・人口減少と少子高齢化 ・健康ニーズの高まりと市場の二極化 ・労働人口の減少と物流クライシス ・食の簡便化志向の高まり ・TPP等による輸入製品との競争激化
	COVID19関連	<ul style="list-style-type: none"> ・外食産業の客数減少 ・リモートワークの増加（CVS/駅ナカ需要減） ・内食増加傾向（即席麺、冷凍食品） ・観光業（インバウンド）の減少（土産菓子）
	SDGs	<ul style="list-style-type: none"> ・『SDGs（持続可能な開発目標）』を経営に取り入れ、「経済価値」、「環境価値」、「社会価値」の同時実現が求められる。
	DX	<ul style="list-style-type: none"> ・データのデジタル化 ・IoT、AI技術を活用した効率化・合理化 ・デジタル技術を用いた事業変革
当社グループの課題		<ul style="list-style-type: none"> ・持続的成長の基盤となる体制作り ・海外市場の更なる取り込み ・健康志向への対応

事業基盤の確立

新中期経営計画

2024中期経営計画 New Foundation for the Future

持続的成長のための「ゆるぎない土台」を構築し、連結純利益40億円を実現する。

基本方針：

「原料調達・製造・販売・開発・物流」全部門の連携を強化し、全社一丸となって、食の安心・安全・美味しさをお届けする。

重点戦略：

- 成長を支える設備・人財投資
- グループ経営基盤及び連携の強化
- 海外ミックス粉事業の面展開と小麦粉の輸出拡大
- 美味しさと健康を軸とした製品ラインナップの拡充
- 「主食を通じた食と健康の課題解決」につながる新規事業機会の創出

2024中期経営計画の基本方針・重点戦略

様々な環境変化に対応しつつ、事業継続に必要な設備更新を進め、成長市場での事業展開、製品拡販を強化することで、2024年度に連結純利益40億円を生み出す体制とする。

基本方針

「原料調達・製造・販売・開発・物流」全部門の連携を強化し、
全社一丸となって、食の安心・安全・美味しさをお届けする。

重点戦略

成長を支える設備・
人財投資

グループ経営基盤及
び連携の強化

海外ミックス粉事業
の面展開と
小麦粉の輸出拡大

美味しさと健康を
軸とした製品ライン
ナップの拡充

「主食を通じた食と
健康の課題解決」に
つながる新規事業機
会の創出

重点施策

- ・ 基幹事業安定化に必要な
となる設備更新の実施
- ・ 成長分野を支える生産
設備増強
- ・ 製粉事業のプロフェッ
ショナルを育成する人
財投資

- ・ グループ各社の高機能
化による製粉関連事業
の強化・拡充
- ・ 物流機能の充実
- ・ グループ間連携の深化

- ・ アジア域内での事業
基盤強化及び他地域へ
の拡販
- ・ 欧州/アジア向け製品
輸出

- ・ 主力製品のブランド強
化及び拡販（「宝笠」
「モンブラン」「天
壇」等）
- ・ 特徴のある新製品開発
及び拡販
- ・ 全粒粉、ライ麦、もち
大麦等の健康訴求製品
の充実

- ・ 市場の変化と当社知
見を融合させる事業
領域の拡大

2024中期経営計画の業績目標

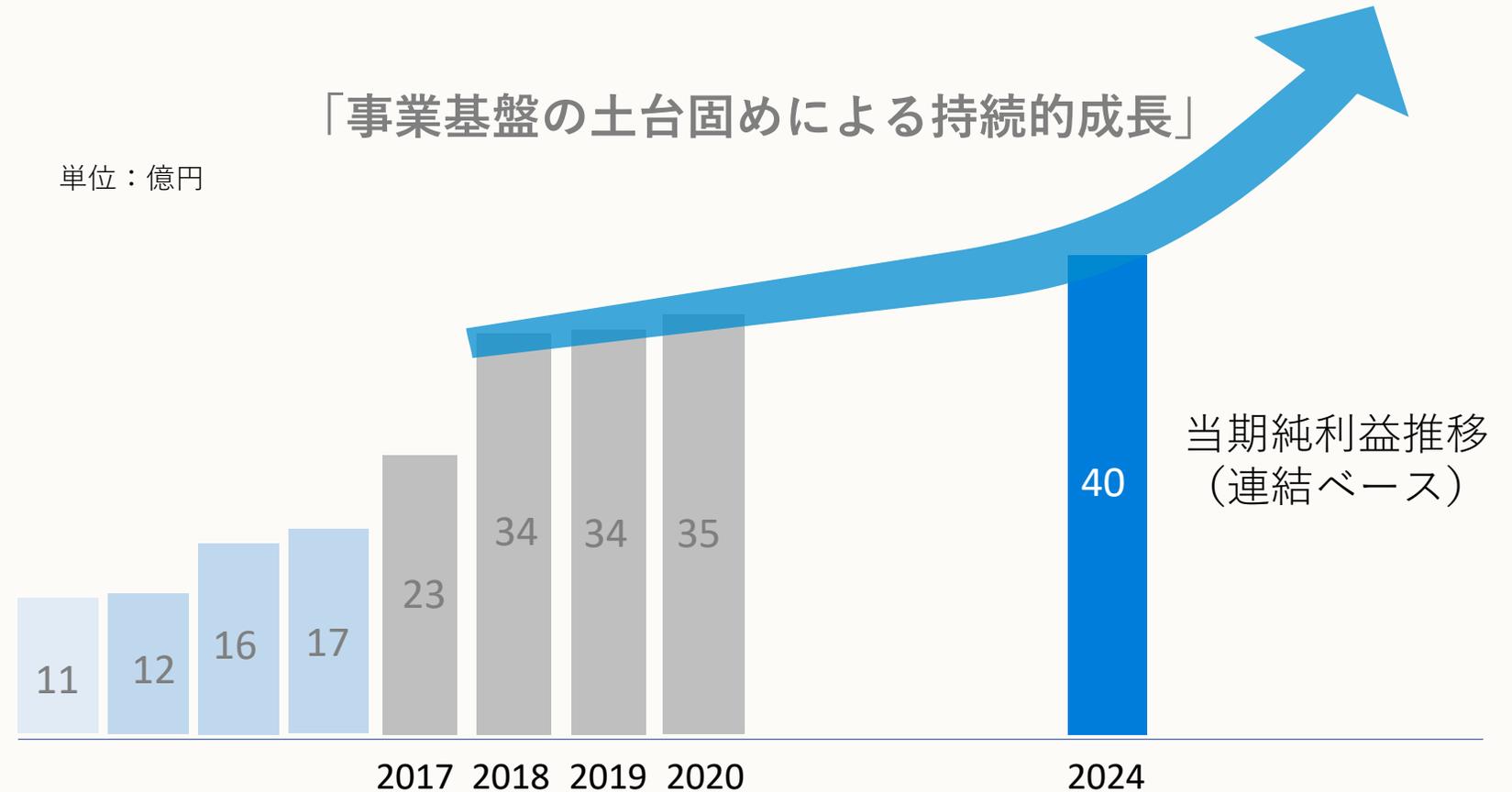
2024中期経営計画「New Foundation for the Future」にて、持続的成長のゆるぎない土台を構築する。

2024年度 業績目標

56億円
連結経常利益
(2020年度実績50億円)

40億円
連結純利益
(2020年度実績35億円)

8.0%
連結ROE
(2020年度実績9.3%)



2024中期経営計画期間中に事業から創出される営業CFについては設備投資、新規事業開発、株主配当（配当性向30%以上）等に充当する。

グループ経営基盤及び連携の強化

グループ企業間の連携及び各事業会社の高機能化を通じて、製粉関連事業商権を強化・発展させる。



SDGsを通じたESG経営の推進

企業の事業活動を通じて社会的な課題を解決する経営を、SDGsを経営に取り込むなかで実現します。

役職員行動規範

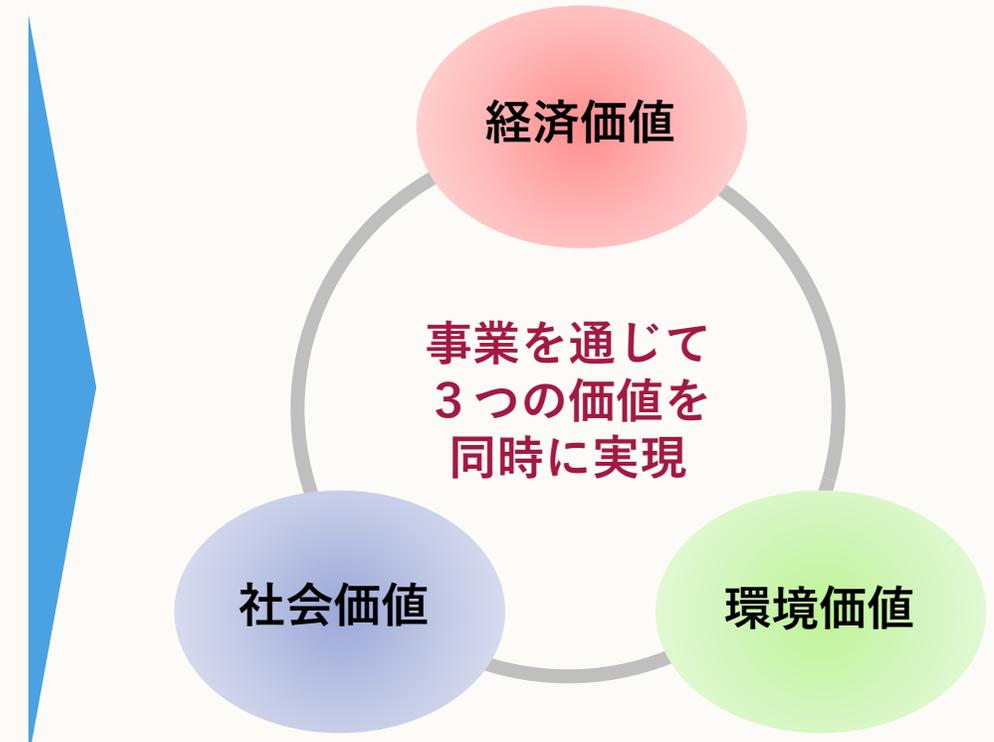
環境方針

食品安全方針

重点分野

SDGsとの関連付け

美味しさと健康	2 飢餓をゼロに	3 すべての人に健康と福祉を	9 産業と技術革新の基盤をつくろう	11 住み続けられるまちづくりを
食の安心・安全	2 飢餓をゼロに	3 すべての人に健康と福祉を	12 つくる責任 つかう責任	
コンプライアンス	8 働きがいも経済成長も			
地球環境	7 エネルギーをみんなにそしてクリーンに	9 産業と技術革新の基盤をつくろう	12 つくる責任 つかう責任	
社会貢献	1 貧困をなくそう	2 飢餓をゼロに	3 すべての人に健康と福祉を	



記載内容に関する注意事項

当資料に記載されている内容は、種々の前提に基づいたものであり、記載された将来の計画数値、施策の実現を確約したり、保証するものではありません。